

解答

- 一 a 肥料 b 粉 c 保存 d 口調
- 二 1 父親の仕事の都合
2 母は慣れるのは簡単ではないが受け入れるしかないと思っているが、ヒナコは納得しきれていない。
- 三 1 前に住んでいた家がまだ本来の家という感覚があるから。
2 太鼓や竜の舞には興味がなかつたし、自分と感性の合わない多恵の好意がわずらわしかったから。
- 四 1 三人を見て、離れて暮らす娘の幼いころの姿が思い出されたから。
- 五 169 「行め」
6 家に帰る電車賃すらないのに、雨の中コンビニまで行って飲み物などを買ってくれたおじさんの善意を踏みにじつた上、友人と一緒になっておじさんを馬鹿にしたことで自分を責めていたから。
- 六 1 改札の前で父親を待つ女の子の真剣なまなざし。
- 七 1 お金などなくとも、大好きだった父に帰ってきてほしいと願う気持ち。
2 多恵の父親を思う温かい気持ちを知り、そんな多恵の招待を受けようと思ったから。
- 八 1 家族としてヒナコを温かく見守り、迎え入れようとする様子。
- 九 1 新しい町の人ときちんと付き合ってみて、新しい町での生活になじんでほしい。
- 十 1 以前は気が進まなかつたが、この場面では前向きになつてている。
- 十一 1 離ればなれになつても家族に会いたいと願い続ける多恵やおじさんの想いに触れることで、常に自分を受け入れ、見守ってくれる家族と共に暮らすことの幸せに気が付いたから。